

# 第 26 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム論文フォーマット

## The 26th IEEE Hiroshima Section Student Symposium

### Papers Format

電気 太郎<sup>†</sup> 情報 花子<sup>††</sup>

Taro Denki<sup>†</sup> Hanako Joho<sup>††</sup>

<sup>†</sup>HISS 大学 工学部 <sup>††</sup>HISS 大学 情報工学部

## 1 概要

これは第 26 回 IEEE 広島支部学生シンポジウムの論文フォーマットである。論文の原稿を執筆する際は、このフォーマットに従うこととする。なお、英語論文は同様の形式だが英語表記のみとする。

## 2 スタイル

原稿は A4 判を用いることとする。余白は上部 20mm, 下部 20mm, 左右 20mm にし、内部領域に原稿が収まるようにする。テキストコードは SHIFT JIS を使用する。

### 2.1 表題部

表題は見やすくするために大きなフォントを使用することとする。表題の文字の大きさは 14–16pt を使用することとする。著者名等は 10pt を用いる。大きいフォントがないときは太字のフォントを使用する。表題および著者名は和文・英文両方を記す。所属機関名は和名のみを記す。著者が複数で所属がそれぞれ異なる場合もそれぞれ記す。

### 2.2 本文

1. 本文のフォントの大きさは 9–10pt とする。
2. 本文は 2 段組とし、ページ数は原則 2–8 ページ（両面刷り 1–4 枚）とする（ページ番号は入れないこと）。
3. 本文は「である」調とし、できるだけ平易に表現する。専門用語以外は常用漢字を使用する。句読点は「,」「.」に統一する。
4. 全体を通して用語を統一する。
5. 略語に関しては、( ) 内に名称を記載する。また、脚注を使用してもよい。
6. 数字は原則としてアラビア数字を用いるが、文章になっている場合は漢数字を用いてもよい。（数 100m → 数百 m）

### 2.3 図、表および写真

1. 図表は A4 判の紙 1 枚当たり 1, 2 点を目安とし、鮮明に描く。また、図および表には表題、通し番号をつける。
2. 図・写真は原稿をそのまま使用するのので、大きめに描き、線の太さ、濃淡、文字の大きさに注意して作成する。
3. グラフの縦軸、横軸には必ず軸の名称と単位を記入する。

## 2.4 文献

1. 引用文献は本文の登場順に通し番号を付け、本文中該当部分に [?] 等のように印をつける。
2. 1 文献につき 1 番号を対応させる。同一著者の別の文献は別番号とする。
3. 文献の引用にあたっては必ず出典を明記し、必要に応じて原著者の了承を得る。
4. 文献の著者名は日本語ならばフルネームで示し、英語ならば名前はイニシャルで書く。

## 3 特許に関する注意

本シンポジウムは、特許法第 30 条第 1 項（発明の新規性の喪失の例外）の対象とならない。このため、本シンポジウムで発表する内容を特許申請する予定のある方は、論文集の発行日（2024 年 11 月 25 日）より前に特許申請を行っていただきたい。

## 4 査読用論文の提出先

第 26 回 HISS ホームページの査読用論文提出フォームの投稿システムにアクセスして、連絡先の住所、所属、名前、投稿論文の分野、等必要事項を記入し、原稿 PDF ファイルを 2024 年 08 月 19 日（月）17:00 ままでにアップロードする。投稿システムの利用が難しい場合は、下記 E-mail へ。

## 5 問い合わせ先

質問等は下記までお問い合わせ願います。

〒 731-3194

広島県広島市安佐南区大塚東 3 丁目 4 番 10 号

広島市立大学 情報科学部 情報工学科 情報ネットワーク研究グループ 内

（第 26 回 HISS 論文 TP 委員長 原 惇樹）

E-mail : [hiss\\_tp@hiss26th.sakura.ne.jp](mailto:hiss_tp@hiss26th.sakura.ne.jp)

第 26 回 HISS HP: <https://hiss26th.sakura.ne.jp/>

## 参考文献

- [1] T.Denki,H.Joho,"26thHISS," *IEEE*,Vol.1,No.1,pp.1-10,2000.